



宗岡二中だより 10月号



平成30年10月1日（月）

志木市下宗岡 4-1-10 ☎048-472-1516

自ら学び考える生徒

学校教育目標：心豊かな優しい生徒

明るく元気な生徒

場を清める行為

校長 滝沢 慎

ニューヨークの『破れ窓理論』を知っているでしょうか？「汚い所はますます汚くなり、きれいな所はますますきれいになる」という理論です。

犯罪都市だったニューヨークは、街をきれいにすることで犯罪が激減しました。

駅のトイレは、駅員さんの努力で、大変きれいなトイレが多くなりましたが、公園などの公共のトイレはどうでしょうか？（もちろんきれいにそうじされているトイレもあります）

「自分の物は大切にするが、みんなの物は粗末に扱う」ことはないでしょうか？「公共や他人の物は壊しても平気」ということはないでしょうか？

先日、車からタバコを投げ捨てた光景を見ました。しかも、灰皿ごとです。交差点で車を止めると、多くの交差点に空き缶やビンなどのゴミが散乱しています。なんとも嘆かわしいことです。学校の回りにも、ゴミやタバコが毎日のように落ちています。

今の日本は、どうもきれいな国ではないようです。

日本人はモラルを大切にすると外国では思われています。先日のテレビでは、外国の人が「日本はもっときれいな街だと思った」と言っていました。私は、小学生や中学生ではなく、本当は大人がモラルを忘れていていると思います。

自分の物はもちろん大切にします。しかし、みんなで使う物、みんなで使う場所こそ本当は大切に、そしてきれいにしなくてはいけないのではないのでしょうか。自分だけ良ければいいという発想は寂しいものです。

本当は、「ゴミを拾う」より「ゴミを出さない」ことが大切なのではないのでしょうか。

「犯罪を場所で防ぐ」「犯罪ができない雰囲気をつくる」ことが学校でも、家庭でも、地域でも必要ではないかと考えます。

宗岡二中はこれからも「地域の中の学校」として、地域と共に成長していきたいと思っています。

「平成30年7月豪雨」の際、生徒会が取り組んだ義援金の募金活動について、香川志木市長から、お礼のメッセージをいただきました。